

平成17年度産学共同研究委託事業

知的障害者の能力開発に基づく就労環境調査報告(要約)

1. 「知的障害者能力開発プロジェクト」の流れと目的

2004年9月より開始されました本プロジェクトは、第一段階として
静岡福祉大学社会福祉学部 平井利明教授により作成された

『 障害者のための能力開発プログラム 』

と知的障害者の(潜在的な)能力を活用し、知的障害者のスキルをパソコン資格取得可能レベルにまで高めるための「指導要領」(指導要綱)を作成してきました。

第二段階として知的障害者の能力を活用した情報処理モデル事業の構築を目指しております。その一環として今回の「知的障害者の能力開発に基づく就労環境調査」を実施させていただきました。

この結果を踏まえ、就業環境を整備のため「情報処理事業のフェーズ1」を本年4月より開始します。

最終的には、知的障害者が直接的に利益を生むことを実証し、

「知的障害者の能力を活かした就労の促進」

「知的障害者の能力を活かした情報処理事業の起業」

に結び付けていくことを目的としています。

また本プロジェクトの成果は、全国の知的障害者はもとより、高齢者や心身障害者などにも応用できると考えております。

2. 「知的障害者の能力開発に基づく就労環境調査」の内容

知的障害者に対し就労支援を行なう施設または団体及び利用者の家族に対し

知的障害者施設の規模、委託事業内容、施設内授産事業内容

知的障害者の受け入れレベルと知的障害と近縁障害

知的障害者の能力開発に関する意識

知的障害者の情報教育に関する意識

知的障害者の就労に関する意識

知的障害者を雇用している企業または団体及び一般企業に対し

情報教育された知的障害者の雇用または雇用機会の可能性

情報教育された知的障害者にアウトソーシング出来る仕事または業務

知的障害者の雇用に対する意識

3. 「知的障害者の能力開発に基づく就労環境調査」の方法

アンケートによるリサーチ

報告者:静岡福祉大学平井研究室・F-spirits 有限会社共同研究事業体

発表者:F-spirits 有限会社 泉 利 次